

# タカチホヘビ

学名	Achalinus spinalis Peters		
目名	トカゲ目		
目名学名	SQUAMATA		
科名	ヘビ科		
科名学名	Colubridae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし	水産庁：



## 【選定理由】

大分県内での確認例は現在のところ3地域4例と極めて少ない。生息環境の悪化から個体数の減少が懸念される。

県内分布	佐伯市(城山),庄内町(黒岳),野津原町(七瀬川流域)
分布域	本州,四国,九州,屋久島,種子島
世界的分布	中国大陸東部
生息環境	平地から山地の森林に生息し,夜行性で昼間は倒木や石の下に隠れている。夜間に行動し,ミズなどを補食。乾燥に弱い。
現状	城山や黒岳の生息地は安定しているが 移動性が低く,乾燥に弱いことから,野津原町では,森林伐採の他,峡谷,溪谷,河岸改造などによる乾燥化の影響を受け,生息個体数が減少することが懸念される。
備考	

# シロマダラ

学名	Dinodon orientalis (Hilgendorf)		
目名	トカゲ目		
目名学名	SQUAMATA		
科名	ヘビ科		
科名学名	Colubridae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし	水産庁：



## [選定理由]

ここ4～5年の間に、複数の確認情報が寄せられているが、数は多くはない

県内分布	大分市(西大分),宇佐・中津市(今仁,伊東田):新規確認地点大分市(高崎山, 田尻など4地域), 日田市, 大野町, 佐伯市, 蒲江町, 国東地域など
分布域	本州, 四国, 九州, 奥尻島, 伊豆大島, 佐渡, 壱岐, 薩摩硫黄島, 屋久島
世界的分布	
生息環境	低山地の森林林縁部などに生息。夜間や早朝行動し,トカゲ類や小型のヘビ類を捕食する。観察例が少ないものの全県的に生息していると思われる。
現状	夜行性のため人目に付く機会が少ない種である。大分県内での確認例は全県的に広がっている。
備考	日本固有種

# タワヤモリ

学名	Gekko tawaensis Okada		
目名	トカゲ目		
目名学名	SQUAMATA		
科名	ヤモリ科		
科名学名	Gekkonidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし	水産庁：



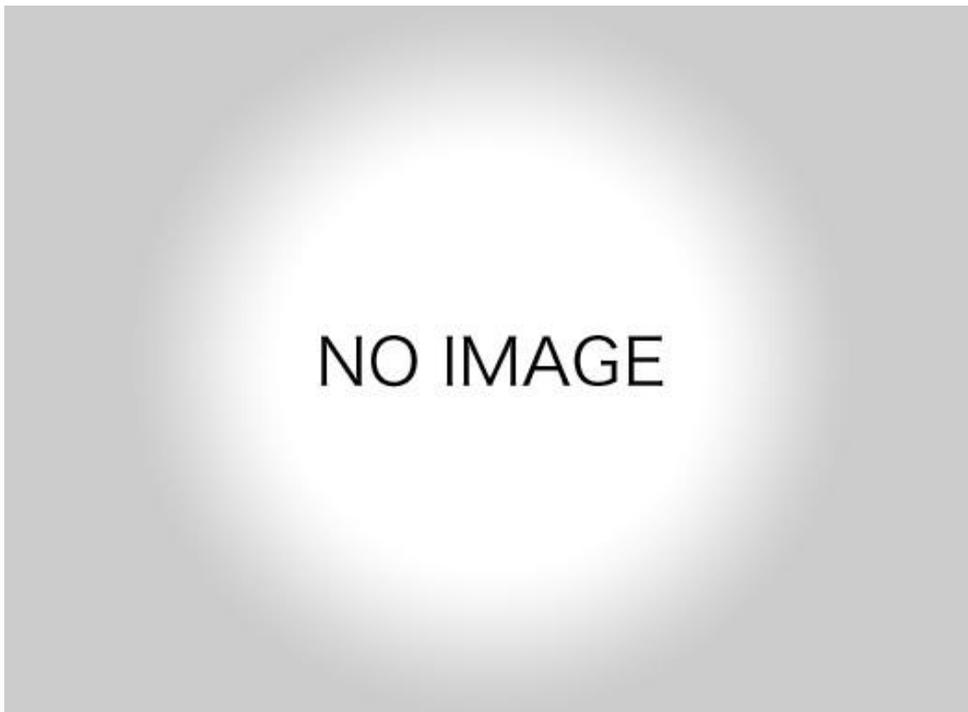
## 【選定理由】

日豊海岸沿いのやや乾燥した低地～丘陵地の岩場を中心に生息。個体数は多くなく、人工護岸壁の広がり影響している。

県内分布	杵築市, 大分市, 臼杵市, 佐伯市, 弥生町, 本匠村
分布域	大阪府, 兵庫県, 岡山県, 和歌山県, 広島県, 四国各県
世界的分布	日本固有種
生息環境	海に面した崖の続く自然海岸や, 低山地・丘陵地などで露岩のある乾燥した山地, 神社, 倉庫, 林や崖に面した人家などに生息。ウバメガシやアカマツが生育するような乾燥した岩場を好む。
現 状	杵築市, 大分市, 臼杵市, 佐伯市の海岸域の岩場を中心に生息。内陸域では, 弥生町や本匠村にも生息。
備 考	

## アカウミガメ

学名	Caretta caretta (Linnaeus)		
目名	カメ目		
目名学名	TESTUDINATA		
科名	ウミガメ科		
科名学名	Cheloniidae		
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省： I B (EN)	水産庁： 希少種



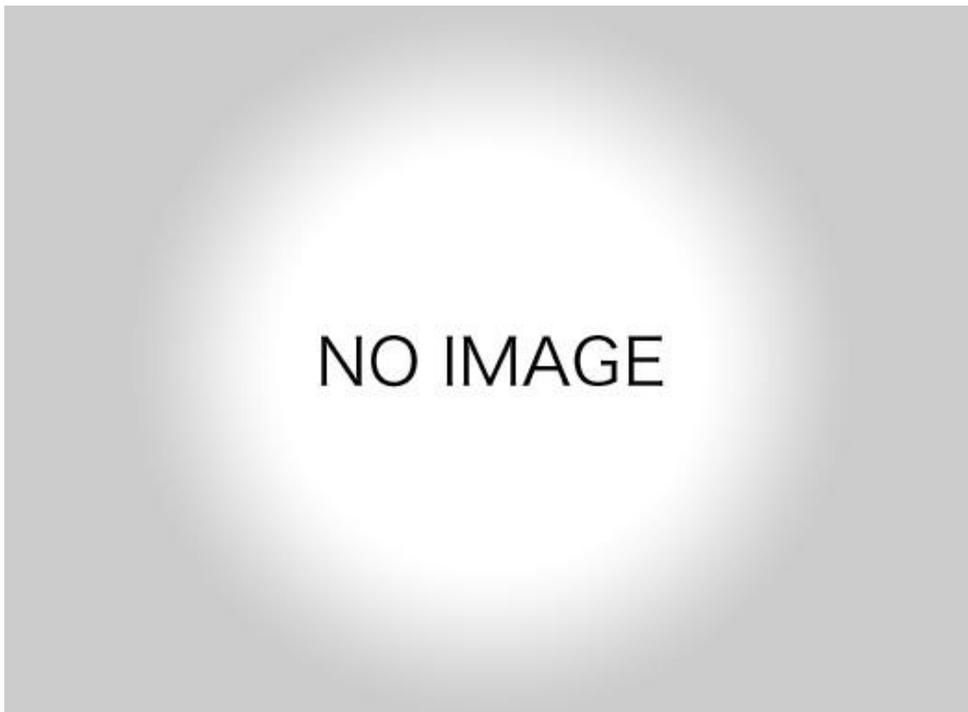
## [選定理由]

海浜の人為利用により産卵，上陸がほとんど見られなくなっている。

県内分布	(生息)中津市～佐伯市 (上陸:追加)大分市 (繁殖:追加)国東市
分布域	(産卵)太平洋側は福島県と茨城県境付近以南,日本海側は石川県の能登半島付近以南
世界的分布	(生息)温帯,亜熱帯域の海洋
生息環境	温帯,亜熱帯域に分布の中心を持ち,海亀類の中では最も高緯度の温帯域に繁殖の場を広げている種である。水温の適温は25℃前後。
現状	県南部の自然海浜の人為利用がすすみ,産卵,上陸がほとんど見られなくなっている。水の子沖で本種の孵化間もない幼体が観察されており,本県海域が本種の生息・繁殖域に含まれると考えられる。
備考	

## アオウミガメ

学名	Chelonia mydas (Linnaeus)		
目名	カメ目		
目名学名	TESTUDINATA		
科名	ウミガメ科		
科名学名	Cheloniidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：Ⅱ (VU)	水産庁：希少種



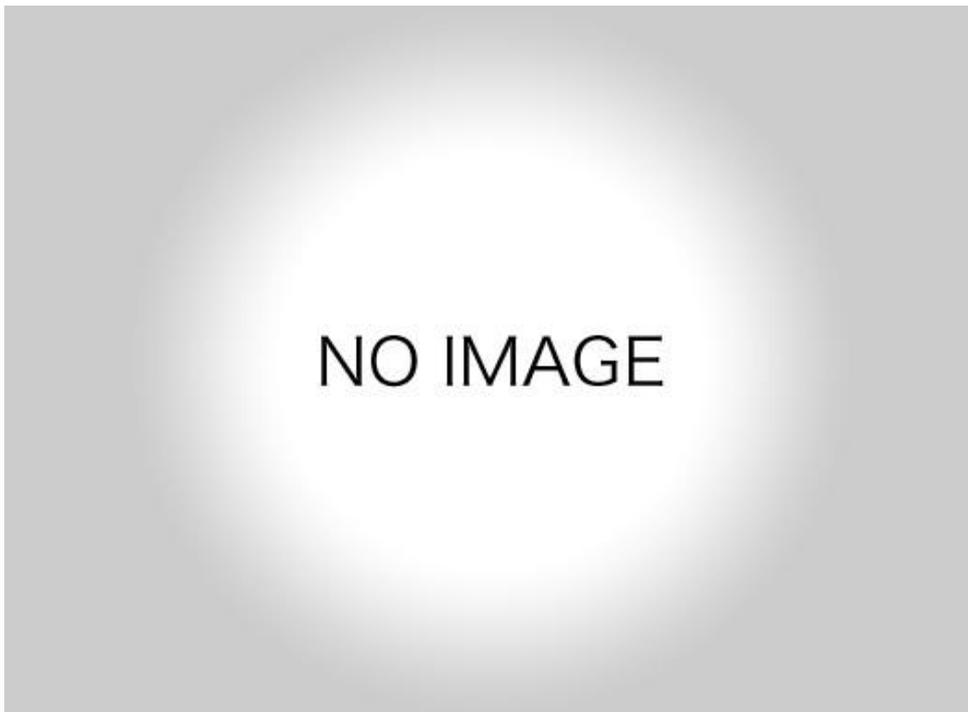
## [選定理由]

未成熟個体が定置網により周年混獲される。本県海域は本種の成長期の生息場所である可能性が高い。

県内分布	(生息)蒲江町 (追加)杵築市～佐伯市
分布域	(生息)北海道の室蘭以南から日本海側も含め、南西諸島南端まで
世界的分布	(生息)熱帯、亜熱帯域の海洋
生息環境	世界の熱帯、亜熱帯に広く分布し、温帯域にも生息するが、水温8℃以下では生息できない。
現 状	主に未成熟個体が定置網により周年混獲される。本県海域は本種の成長期の生息場所である可能性が高い。
備 考	

## タイマイ

学名	Eretmochelys imbricata (Linnaeus)		
目名	カメ目		
目名学名	TESTUDINATA		
科名	ウミガメ科		
科名学名	Cheloniidae		
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： I B (EN)	水産庁： 希少種



## [選定理由]

未成熟個体が定置網により周年混獲される。本県海域は本種の成長期の生息場所である可能性が高い。

県内分布	(生息)蒲江町 (追加)杵築市～佐伯市
分布域	(生息)太平洋側,日本海側共に津軽海峡以南,(産卵)黒島,石垣島,多良間島,水納島(先島諸島),宮古島,阿嘉島,座間味島,沖縄島,水納島(沖縄諸島)
世界的分布	(生息)主として南北緯30度より低緯度の熱帯海域
生息環境	海亀類の中で最も熱帯海域に偏って生息する。主に,サンゴ礁や岩礁海域に生息するが,低質が泥の小湾や河口のマングローブ域などにも出現することがある。
現 状	主に未成熟個体が定置網により周年混獲される。本県海域は本種の成長期の生息場所である可能性が高い。
備 考	捕獲制限種

# ニホンイシガメ

学名	Mauremys japonica (Temminck & Schlegel)		
目名	カメ目		
目名学名	TESTUDINATA		
科名	バタグールガメ科		
科名学名	Emydidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：情報不足(DD)	水産庁：



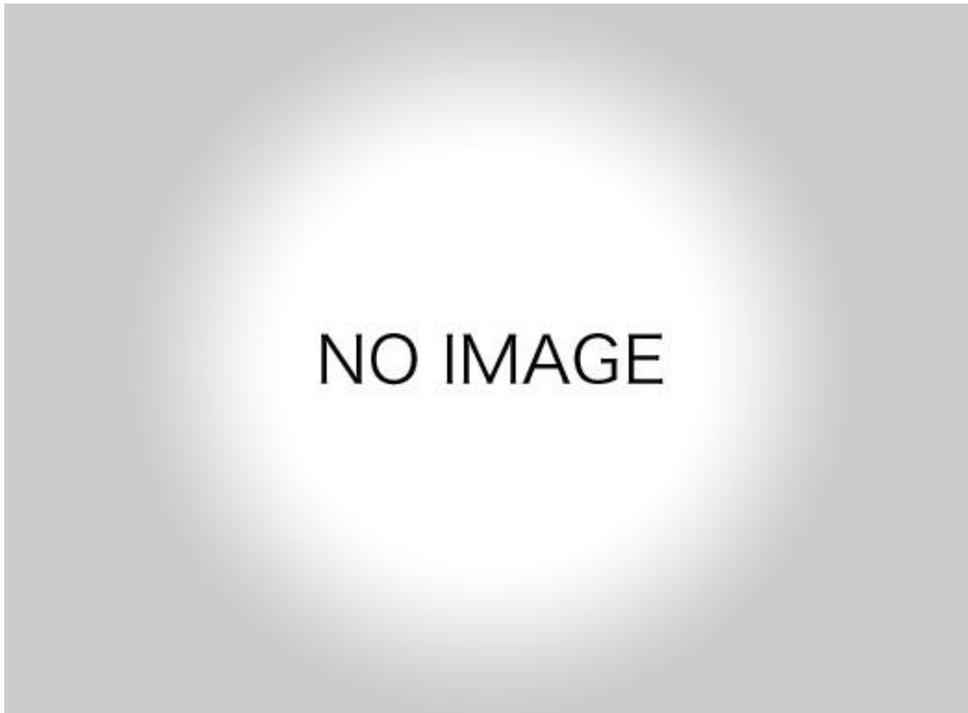
## [選定理由]

10年前までは平野部の河川に普通に生息していたが最近激減。クサガメ同様、ミシシッピーアカミガメとの種間関係。河川の護岸工事による産卵地への移動阻害などを理由に個体数が減っている。

県内分布	県内全域
分布域	本州中部以西, 四国, 九州(長崎・佐賀・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	日本固有種
生息環境	山麓の池沼や水田, 河川では上流域から中流域にかけて生息。かつては神社や公園の池などにクサガメ同様に移植されていた。
現状	本県では10年ほど前までは河川下流域にも生息していたが, 同様な環境下に生息するミシシッピーアカミガメとの競合により河川下流域では生息域が狭まっている。また, 護岸の整備は産卵場所への移動阻害となっている。
備考	日本固有種

## スッポン

学名	Trionyx sinensis Wiegmann		
目名	カメ目		
目名学名	TESTUDINATA		
科名	スッポン科		
科名学名	Trionychidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：情報不足 (DD)	水産庁：



## [選定理由]

県内分布	山国川,深見川など県下各河川
分布域	本州,四国,九州,壱岐,石垣島,西表島,与那国島
世界的分布	朝鮮半島,中国東部,台湾,インドシナ北部
生息環境	底が砂泥質の平地の池沼やゆるやかな流れにすむ。夜行性。食性は肉食で,魚,甲殻類,水生昆虫などである。
現 状	本種に関しては, 養殖場からの逸脱個体, ペットなど飼育下の脱走個体, さらには食用のための池沼への移入個体など様々な人為攪乱を受けながら野生化しており, 従来の野性種と混在し, 在来の野生種との判断がつかず, 詳細な情報は不足している。しかし, 地域によっては野外の生息種に関して捕獲圧が高く, 絶滅の危険性があると考えられる。
備 考	